

平成 29（2017）年さけます来遊状況（第 2 報：9/30 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 122 万尾 [前年同期比：14%、平年*1 同期比：15%]
- 9 月末までの来遊数は、平成以降（1989 年以降）で最も少ない
- 全道で 1 億 1,832 万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 28（2016）年の平均値

（北海道）

9 月末までの北海道のカラフトマス来遊数は 122 万尾 [前年同期比：14%、平年同期比：15%] となっています。

カラフトマスは 2 年魚で回帰するため、奇数年と偶数年では繁殖集団が異なります。本年 9 月末時点の来遊数は、最近の奇数年である平成 27（2015）年を下回るだけでなく、平成以降（1989 年以降）では偶数年を含めても最も少なくなっています（表 1 および図 1）。

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2004(H16)	585	587	2011(H23)	551	553
2005(H17)	914	918	2012(H24)	221	221
2006(H18)	554	559	2013(H25)	321	325
2007(H19)	1,488	1,491	2014(H26)	157	158
2008(H20)	703	704	2015(H27)	210	210
2009(H21)	1,107	1,111	2016(H28)	887	890
2010(H22)	729	731	2017(H29)	122	-
			平年	826	833

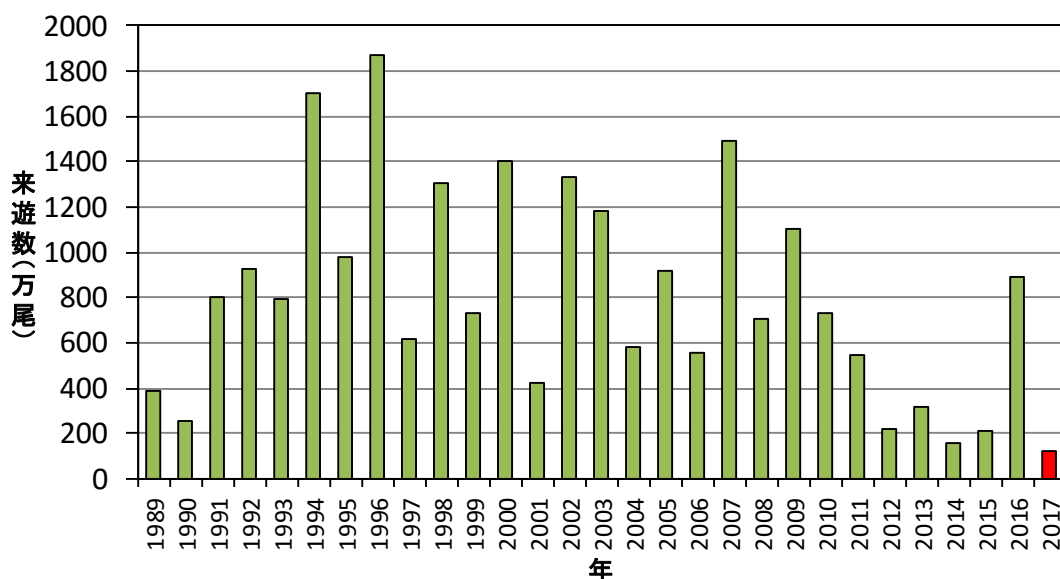


図 1. 7 月 1 日～9 月 30 日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2017 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では 111 万尾〔前年同期比：13%、一昨年同期比：63%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では 12 万尾〔前年同期比：20%、一昨年同期比：34%〕と、両地域ともに前年及び一昨年を大きく下回っています。

カラフトマスの河川捕獲数は、9 月末時点で 18 万尾〔前年同期比：25%、平年同期比：22%〕となり、平成以降（1989 年以降）では最も少なくなっています（表 2）。

このような厳しい状況の中で関係者の努力により、採卵数については 9 月末時点で 1 億 1,832 万粒と、前年同期の 94%まで確保されています。

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2004(H16)	64	65	2011(H23)	58	59
2005(H17)	85	89	2012(H24)	25	26
2006(H18)	88	94	2013(H25)	44	48
2007(H19)	141	144	2014(H26)	26	26
2008(H20)	91	92	2015(H27)	23	24
2009(H21)	128	131	2016(H28)	73	76
2010(H22)	85	87	2017(H29)	18	-
			平年	81	87